

# 予防接種一覧表



生後2か月からの定期予防接種(一部生後2か月前から接種できる予防接種もあります)

接種可能期間

→ は標準的な接種時期

ワクチン名	接種回数	2か月	3か月	4か月	5か月	6か月	7か月	8か月	9か月	10か月	11か月	1歳
ロタウイルス※1 (内服による定期接種)	1価:2回 (ロタリックス) もしくは 5価:3回 (ロタテック)		→	→								
		1価:1回目は生後6週0日～生後14週6日までに受けましょう 2回目は1回目から27日以上の間隔をおいて生後24週0日までに受けましょう  5価:1回目は生後6週0日～生後14週6日までに受けましょう。 2回目・3回目は前回から27日以上の間隔をおいて生後32週0日までに受けましょう  ◎腸重積症にかかった方、未治療の先天性消化管障害のある方、免疫不全症のある方は定期接種の対象にはなりません。										
B型肝炎 (母子感染予防を除く)	3回		→	→								
		1回目の接種は2か月を迎えたら受けましょう 2回目の接種は1回目の接種後、27日以上の間隔をおいて受けましょう 3回目の接種は1回目の接種後、139日以上(20週後)の間隔をおいて受けましょう 1歳を迎えるまでに計3回の接種が必要です										
小児肺炎球菌	4回※2		→	→	→							→
		1回目の接種は生後2か月～7か月に至るまでに受けましょう										
五種混合 (ジフテリア・百日せき・破傷風・ポリオ・ヒブ)	4回		→	→	→							→
		初回 初回接種:20日以上の間隔をおいて計3回接種しましょう 追加接種:初回接種終了後6月以上の間隔をおいて1回接種しましょう 追加										
BCG	1回					→						
		生後5か月を迎えたら早めに接種しましょう										

N

※1 原則、1価もしくは5価の同じ種類を内服します。同じ種類の内服が困難な場合は、保健課までご連絡ください。

1回目の接種が生後15週を過ぎた場合も公費での接種となりますが、安全性が確立していないため、内服を行うかについてはかかりつけ医にご相談ください。

※2 接種回数は、接種開始月齢により異なります。詳しくは、同封の「予防接種とこどもの健康」をご確認ください。

## 1歳からの定期予防接種

ワクチン名	接種回数	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳
MR (麻しん風しん混合)	2回	→				→		
		1回目の接種は1歳の間に受けましょう 2回目の接種は小学校就学前の1年間に受けましょう						
水痘 (みずぼうそう)	2回	→	→					
		1回目の接種は生後12か月から15か月までに受けましょう 2回目の接種は1回目の接種後6～12月の間隔をおいて受けましょう					◎水痘(みずぼうそう)にかかった診断を受けた場合には定期接種の対象にはなりません。	
日本脳炎第1期*	3回			→	→	→		
		初回 追加 初回:3歳を迎えたら6日以上の間隔をおいて2回接種しましょう 追加:4歳を迎えたら初回(2回)終了後、6月以上の間隔をおいて1回接種しましょう 7歳半までの間に計3回の接種が必要です						

\* 標準的な接種時期は3歳からですが、生後6か月から接種可能です。3歳未満で予防接種を希望される方は母子健康手帳と予防接種ノートをお持ちのうえ保健課までお越しください。

☆ 同時接種(1回2種類以上の接種)が可能な医療機関と、単独接種(1回1種類の接種)のみの医療機関があります。接種方法についてはかかりつけ医にご相談ください。